

「美食王国もりおか」ウェブサイト要件

1 閲覧環境

次のブラウザを使用した環境で閲覧できるようにすること。

なお、それぞれの最新バージョンとする。

Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome、macOS Safari、iOS、Androidの標準ブラウザ

2 アカウントの制作

管理者アカウント及び作成者アカウントを制作し、次の項目についての操作を可能とすること。

なお、管理者アカウントについて、受注者は、そのアカウントの責任者を選任すること。

また、作成者アカウントで作成、編集等をされた内容については、管理者アカウントによる確認を受けてから公開されるものとする。

(1) 動作環境

パソコンの基本操作ができる程度の知識で運用できるものとし、次の環境で操作できるようにするとともに、これらに対応する動作を保証すること。

ア OS : Windows10以降のWindowsクライアントOSで動作すること。

イ ウェブブラウザ : 次のブラウザで動作すること。

なお、それぞれ構築時点の最新バージョンとする。

Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome、macOS Safari、iOS、Androidの標準ブラウザ

ウ TC (Thin client : シンクライアント)

Windows Server 2016 Standard以降のWindowsサーバOSで動作すること。

ウェブブラウザ : 上記と同様

3 保守管理

(1) システム運用・保守、更新サポート

ア システムの安定的な運用を図るため、定期的な保守を行うこと。

イ ウェブサイトの運用に必要なソフトウェア等のバージョンアップには、原則として追加の費用なしに対応すること。

ウ システムに脆弱性が発見された場合、発注者に速やかに報告するとともに、相談の上セキュリティパッチを適用するなど、適切に対応すること。

エ メンテナンスを実施する場合は、あらかじめ告知すること。

オ メンテナンス時及び障害対応時を除き、24時間利用可能とすること。

カ 操作方法など運用に関する問い合わせに対応すること。

(2) サーバ環境の保守

ア システムを支障なく運用できるレンタルサーバを用意し、サーバに保存したデータの適切な管理・保護を行うこと。

イ 暗号化技術（TLS1.2）が装備されていること。

ウ 1日1回以上、5世代のバックアップを実施し、障害時に備えること。

エ 障害が発生した場合は、発注者に速やかに報告し、復旧処置及び再発防止を行うこと。

オ 発注者と協議の上、SLA（サービス水準合意）を設定すること。

(3) ドメインの管理

ア ドメインは、発注者が指定するものを使用すること。

イ ドメインを継続して利用できるように管理すること。

ウ ウェブサイトを閉鎖した場合であっても、閉鎖後3年間はドメインを保持すること。

(4) 情報セキュリティ

ア ウェブサイト全体をTLS1.2による暗号化通信を行うこととし、暗号化の強度は128bit以上にすること。

イ 不正アクセス及び改ざん等を防止するため、ファイアウォールなど必要な対策を行うとともに、検知した場合には発注者に速やかに報告し、適切に対応すること。

ウ 個人情報の入力が必要な場合はSSL暗号化など情報漏えいやなりすましを防げる方式を利用すること。

(5) CMSのアクセス制限・権限

次のとおり複数レベルのアクセス制限を実施すること。

ア 作成者アカウント

作成者アカウントへのアクセスは、ID及びパスワードの入力により可能とし、指定したグローバルIPアドレス以外からのアクセスを制限すること。

イ 管理者アカウント

(ア) 管理者アカウントへのアクセスは、管理者のID及びパスワードの入力により可能とし、指定したグローバルIPアドレス以外からのアクセスを制限すること。

(イ) ウェブサイトの制作及び管理運営に必要なすべての操作を可能とすること。

(ウ) 作成者アカウントのID及びパスワードを管理すること。

(エ) 厳重に管理すること。

(6) アクセシビリティへの対応

「JIS X 8341-3:2016 高齢者・障害者等配慮設計指針 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス 3部：ウェブコンテンツ」（以下、「JIS X 8341-3:2016」という。）のウェブアクセシビリティ達成基準の等級AAへの準拠を維持すること。また、ウェブサイトで公開している全てのページ・コンテンツについて、下記のとおりアクセシビリティに対する配慮を念頭に置いたページ作成を行うこと。

ア 総務省「みんなの公共サイト運用モデル（2016年度改定版）」の内容を理解し、ウェブアクセシビリティ方針策定ガイドラインを作成すること。

なお、同モデルが改訂された場合は、改訂内容を踏まえた上で対応すること。

イ サイト構造設計や移行データ、再構築データはJIS X 8341-3：2016の達成等級AAに準拠（対象となるコンテンツが存在しないなど、適用外とする達成基準を除く）すること。基準を満たさないデータがある場合は必要に応じて修正を行うこと。

なお、同規格が改訂された場合は、改訂内容を踏まえた上で対応すること。

ウ JIS X 8341-3：2016及びウェブアクセシビリティ基盤委員会の示す「JIS X8341-3:2016 試験実施ガイドライン」に基づいた試験を実施し、その結果を報告すること。

なお、同規格が改訂された場合は、改訂内容を踏まえた上で対応すること（結果はウェブサイトで公開すること）。

※「準拠」：ウェブアクセシビリティ基盤委員会の示す「ウェブコンテンツのJIS X 8341-3:2016 対応度表記ガイドライン」に基づくもの